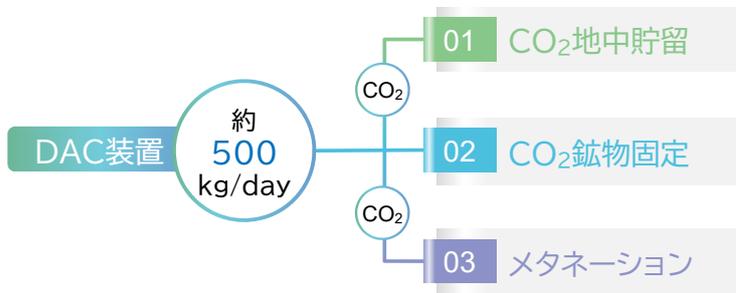


大阪・関西万博 「RITE未来の森」

RITEは 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)に協賛し、万博会場内で大気中のCO₂を直接回収する技術(Direct Air Capture, DAC)の実証試験を行っています。自然の森と同じように大気中のCO₂を回収することから、「RITE未来の森」と名づけました。DACは、無尽蔵にCO₂を回収できるポテンシャルがあること、CO₂貯留地点でCO₂を回収することができるなど多くのメリットがあり、ネガティブエミッション技術の核となる夢の技術です。

世界的な未来技術発信の場である万博を通じて、RITEが提案するこのDACを中心としたネガティブエミッション技術を世界に発信し、子どもたちを始めとする多くの方へ地球温暖化対策への理解を深めて頂くことを目指します。

RITE未来の森 概要



RITEが従来から推進しているCO₂地中貯留技術

CO₂を固定化したアスファルト・コンクリートをガイダンスホールの床面や見学通路の舗装に使用

隣接する大阪ガスのメタネーション装置へCO₂を供給、メタンを合成して都市ガスとして利用

RITE未来の森 展示

- ガイダンスホール内での立体映像によりネガティブエミッション技術の必要性、DAC技術やCO₂貯留技術・有効利用技術をストーリー立てて分かりやすく説明
- 実物のDAC装置や各種展示物により、地球温暖化対策の最新技術を紹介



皆さん、是非お越しください！！見学にあたっては、事前申し込みが必要です

